

さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく
令和7年1月7日

さわやか相談室 TEL 048-865-7573

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 TEL 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

新年を迎えるにあたり

校長 高山 俊介

新年あけましておめでとうございます。
皆様、穏やかに新年をお迎えられたことと思います。
本年もどうぞよろしく願いいたします。



今年は、「松の内」に始業となります。生徒の皆さん、松の内とは、お正月を意味していて、その期間は、江戸時代初期まで全国一律で15日までと定められていましたが、現在では地域によって異なります。関西や四国、東北地方の一部では昔と同じく15日まで、関東や東北、九州地方では7日までを松の内とするのが一般的です。

そして元日、門松（かどまつ）を目印にやってきた年神様は、そのまま門松に宿ってお正月を過ごし、お正月が終わると山へ帰られるといわれます。また、松の内の「松」とは門松のことで、松の内の語源と云われています。その門松は、イラストにあるように松に縁起の良い竹や梅、南天（なんてん）の実、笹の葉などをあしらった正月飾りの一種です。この松・竹・梅は縁起物という以外に、三つの等級を表す場合によく使われます。そのほかにも中国では、松と竹は冬の寒気に耐えて緑を保ち、梅は寒さの中、百花に先がけて花を咲かせることから、松・竹・梅を「歳寒三友（さいかんさんゆう）」といわれます。三友とは友としてふさわしい「正直な人・忠実な人・多聞な人」を云うようで、

「松」は厳冬にも落葉せず、断崖絶壁にも良く根を張るので、忍耐強く、真心を尽くす人

「竹」は節をもった人。また隠し立ての無い正直な人

「梅」は厳冬に咲く事から、激しい状況でも笑顔を絶やさない人

ぜひ、生徒の皆さんには、新年も一人ひとりが「三友」を心がけ、約1000人で共有している時と場（学校生活）を、昨年同様に互いを認め、個性と良識を磨き合える、居心地のよいものにしていきましょう。

さて、昨年実施した本校の学校評価生徒アンケートの結果では、「一人ひとりの個性が認められ、差別やいじめがなく、思いやりのある友達が多い」の設問の肯定的な回答が、とても高く、3学年の平均が93.6%で昨年比+3.8%でした。そして、この結果に大きく影響する教員の指導に対する生徒アンケート「先生は、悩みや相談に親身になって対応してくれる」の設問の肯定的な回答の3学年の平均が、96.9%という評価です。

本校では、昨年から生徒への学習や生活指導等の際に、「させる」から「支える」を教職員全員が研修等により、共通理解・共通指導することを徹底するよう取り組んできました。新年につきましても、生徒一人ひとりの笑顔・成長のために一丸となって取り組んでまいりますので、保護者並びに地域の皆様におかれましては、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

保護者の皆様、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。詳細は来月号にて提示させていただきます。